

記入年月日: 令和4年8月17日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		当社の指導訓練室は約80㎡あります。国の設置基準である児童一人当たり3㎡以上集団活動が行えるよう、死角のない指導員の目が届く一つの空間で児童発達支援事業であれば50㎡以上の広さという基準以上の広さを用意しております。
	2 職員の配置数は適切であるか	○		人員が十分な確保ができるように配慮していきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		毎日の清掃、消毒を行い、清潔な環境に気を付けています。24時間換気システムを行っているほか、冬場は加湿器を設置しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		会議に参加できなかった職員にも周知していくように徹底しています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		ご利用者の保護者向け評価表による評価と公表を実施し、以降を把握し改善に努めます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		今年度が開所初めての評価となりますが、ホームページ上で公表するとともに周知に努めます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	予算に見通しができればと検討しています。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		スタッフの全員参加は困難ではありますが、周知していくよう努めます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		利用に際しての見学・体験時に保護者面談を行いニーズを把握したり、行動観察を記録し、個別支援計画を作成しています。外部でとった発達検査の結果等でも発達状況を把握し、支援計画に活かしています。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか		○	ガイドラインの見直しを行い、改善してまいります。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		課題内容やお子さんの状況に応じて繰り返し行っていることはありますが、楽しみながら続けていけるよう工夫を行っております。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		バランスを考え取り入れています。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		ミーティングで予定報告をしています。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		ミーティング時の記録を残し、全員が把握できるように共有しています。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		業務記録を取り、連絡帳の写しを保管しております。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		会議を通して見直しや検討等を行っています。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		担当職員が行っております。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		関係機関との連携を図っております。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				対象者いません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				対象者いません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			送迎時や支援会議の際に連絡等情報交換をさせていただいております。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			定期的面談や送迎時、必要に応じて電話等で様子を伝え、ご家庭での様子の情報交換や共有をさせていただいております。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○			
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			ご契約時や面談時に説明をしております。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			計画の項目に沿って説明を行っております。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		保護者や主治医と連携を図り対応させていただいております。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		食事、おやつ等配食には注意しております。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	対応時は記録にしてあるが改善が必要で現在検討中です。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○	外部研修にも参加していきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○	現在まで事例はありませんが、今後の対応は職員間で検討していきます。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。